



「感動(感動体験)で大きく成長しよう!」

校長 大浜 譲

非常に強い台風18号が、台湾付近でほぼ停滞しているようです。どうやら直撃は逃れそうですが、今後の動きに注意が必要とのことで、最新情報を確認しながら子どもたちの安心・安全を確保していきたいと思えます。

さて、今月の「お話集会」が本日、体育館にてありました。2学期は行事が多く予定されていることから、各行事を通した「感動(感動体験)」に的をしばって子どもたちにお話ししました。

元NHKアナウンサーの鈴木健二さん(著書『気づばりのすすめ』がベストセラーになったことでも有名)は、「人生に必要なのは感動」だと言っていました。「感動」こそが人間を最も成長させるものだと強く信じていたようです。

子どもたちには、「感動」には次の2種類があること。1つは、ほかの人やものなどから受ける感動。もう1つは、自分や仲間と一緒に頑張ったことで得る感動があることを伝えました。例えば人気アニメ「鬼滅の刃」を見ているときに、主人公の竈門 炭治郎たちと一緒に泣いたり・笑ったり・感動したりするのは前者の「ほかの人やものなどから受ける感動」ですね。どちらの感動も人生には大いに必要ですが、後者の「自分や仲間と一緒に頑張ったことで得る感動」の方がよりインパクトも強く、大きく成長させてくれると言われています。

今月は、2学期最も大きな行事である「体育学習発表会」があります。体育学習発表会に向けて真剣に取り組むのか、中途半端に取り組むのかで、その後の「感動(感動体験)」のレベルが大きく変わってきます。これは、学校生活を楽しく豊かに過ごせるかどうかにも関わってくるのではないのでしょうか。

ちなみに、メジャーリーグで大活躍している大谷翔平選手が大事にしているという言葉があります。これは戦国武将・武田信玄の言葉で、大谷選手は高校時代、この言葉を自筆して枕元に貼っていたそうです。子どもたちに、「付箋紙のところにどんな言葉が入ると思う?」とクイズ形式で紹介したのでそのまま載せますね。どんな言葉が入るのかぜひ挑戦してみてください(答えは上から『知恵』『愚痴』『言い訳』です)。

2学期、いろいろな行事が待っていますが、まずは体育学習発表会に向けて、一人一人練習やチームでの話し合い等に真剣に取り組み、感動体験を通して大きく成長してほしいと願っています。保護者の皆様におかれましては、練習期間中の子どもたちの体調管理、当日の盛大な応援等をぜひよろしくお願い致します。



体育学習発表会で
「感動」を体験して大きく成長しよう!

しんけん

真剣にやっていたら が出る。



ちゅうとはんぱ

中途半端だと が出る。



かげん

いい加減だと ばかり。



10月 神無月 予定

- ◆生活目標・・・進んであいさつをしよう
- ◆保健目標・・・目を大切にしよう
- ◆安全目標・・・安全に休み時間を過ごそう
- ◆給食目標・・・好ききらいなく何でもたべよう
- ◆図書目標・・・本に親しもう
- ◆人権目標・・・いじめについて考えよう

【10月】

- 2日 校内研修
- 5日 信泉誕生日
- 6日 第2回PTA環境整備
- 7日 人権の日
- 8日 安全点検日
- 9日 学年集会 委員会活動
- 石垣市算数・数学フェスティバル
- 14日 スポーツの日
- 16日 児童会タイム
- 17日 クラブ活動
- 20日 **体育学習発表会**
石P連童話・お話大会※高学年会場校
- 21日 振替休日
- 22日 二中生職場体験～24日
- 25日 就学時健康診断
- 29日 避難訓練（不審者）



- 11月1日 マイフナー学習月間スタート
- 11月3日 石垣島まつり市民パレード（6年）

爽やかな風、教育実習生2名



◎砂川詩さん(5-3) 左 ◎石垣花さん(3-3)右
子どもたちに大人気の2人です。9月24日から10月22日まで、登小っ子とともに作る素敵な一ヶ月になりますように。

5年サンゴ学習出前授業



わくわくサンゴ石垣島の皆様をお招きして、5学年を対象にサンゴの生態について学習しました。自分たちとサンゴのつながりを知り、自らの生活を見つめ直す90分となりました。ぜひ、探究心を磨いていきましょう！

登小っ子ふれあいまつり大盛況！



「わっしょいわっしょい祭りだよ！～登小でつろう！笑って楽しい夏の思い出～」をスローガンに、第24回登小っ子ふれあいまつりを9月21日に実施しました。各学年のプレイブースやスポーツ少年団による出店、お楽しみ抽選会など大盛況の子ども祭りとなり、登小っ子全員にとって、忘れられない楽しい夏の思い出となりました。

特に嬉しかったことは、今年度初めて海星小学校児童会役員の皆さんによる舞台発表(海星小クイズ等)を実施することができたことです。両校の絆をこれまで以上に深める良い機会となりました。

お忙しい中、ご協力いただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

地域とともにある学校づくりへ



登校支援の一環で、地域の民生委員の皆様にも校内の子ども見守りボランティアをお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

多様な子どもたちのニーズに合わせた居場所づくりに向けて、心強いサポートをいただくことができています。心から感謝、感謝です。

【子ども見守りボランティア】

- 徳山明美さん(主任児童委員) 写真中央
- 宮良有子さん(主任児童委員) 写真左
- 保里京子さん(民生委員・学校評議員) 写真右